

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室オレンジ		公表日		令和7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	教室の広さや設備を考慮し、適切な利用定員を設定しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用者の状態やニーズに応じて、経験豊富な職員を配置しています。	職員のスキルや人数のバランスを定期的に評価し、最適化を図っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	子どもたちが安心して過ごせるよう、生活空間を分けています。	個々の特性や、宿題などの状況に応じた環境整備を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	定期的な清掃と整理整頓を徹底し、心地よい環境を提供しています。	活動内容に応じたスペースの柔軟な変更や設備の更新を、日々検討しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて、個別の部屋や静かな場所を確保し、子どもたちのプライバシーや集中環境を尊重しています。	個別スペースの利用状況を把握し、適切な使用が促進されるよう努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	目標設定から振り返りまで、職員全員が積極的に出来るだけ関与する体制を築いています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からのフィードバックを得るための評価表を設け、意見や要望を積極的に収集しています。	収集した意見を分析し、サービス利用改善に反映させるプロセスを強化していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的な意見交換の場を設け、職員の声を業務改善に活かしています。	意見が具体的な改善策に結びつくよう、フォローアップ体制を整備しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者評価は、行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的な研修や勉強会を開催し、職員の専門知識やスキルの向上を支援しています。	研修内容や頻度を見直し、引き続き職員のニーズに合わせた学びの機会を提供しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	個々のアセスメント結果を基に、ガイドラインにもとづき、適切な支援プログラムを作成し、保護者と共有しています。	引き続き、より良い支援を提供できるように努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	子どもと保護者のニーズや課題を詳細に分析し、個別のサービス計画を作成しています。	引き続き、より良い支援を提供できるように努めます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、関係職員複数人が協力して計画を策定し、共通理解を持っています。	チーム内での情報共有や意見交換を活発化し、計画の質を高めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画に沿った支援を提供できるよう、研修や育成を行っています。	引き続き、より良い支援を提供できるように努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の観察を組み合わせ、子どもの適応行動を多角的に把握しています。	評価方法の定期的な見直しと職員間での情報共有を通じて、支援の質を向上させています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「児童発達支援の提供すべき支援」に基づき、子どもと家族のニーズに応じた支援項目を設定しています。	計画策定時に関係者複数人が参加し、個別の支援内容を具体化しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員複数人が意見を出し合い、子どもたちの興味や発達段階に適した活動プログラムを共同で作成しています。	プログラムの効果を定期的に確認し、引き続き職員間で意見交換をし、プログラム立案に努めてまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	子どもたちの興味や発達段階に応じて、プログラム内容を定期的に更新し、バリエーション豊かな活動を提供しています。	固定化が必要な内容については、意図的におこない、お子様が楽しく活動できるように工夫してまいります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子ども一人ひとりのニーズや状況に応じて、個別と集団の活動をバランスよく組み合わせ、支援計画を作成しています。	今後も必要に応じて、適宜集団活動と個別を組み合わせ、支援してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前に職員全員で打ち合わせを行い、その日の活動内容や役割分担を明確にし、チームワークを強化しています。	今後も、細やかに打合せをし、支援に生かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援後に職員間で振り返りや、保護者と話した内容を共有し、気づいた点や改善点を共有することで、支援の質を継続的に向上させています。	今後も、細やかに打合せをし、支援に生かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	各支援ごとに記録を残し、子どもたちの状況や支援の効果を把握しています。	記録を定期的に分析し、支援方法の改善や新たなニーズの発見に活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	子どもたちの成長や変化に応じて、支援計画を定期的にモニタリングし、必要に応じて見直しを行っています。	保護者や関係者との連携を深め、総合的な視点から支援計画の適切性を評価しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達管理責任者が参加しております。子どもの状況を理解している他職員も参加し、情報共有と連携を深めるようにしていきます。	定期的な会議や連絡調整を通じて、お客様の状況や発達に合った支援をおこなっております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	地域の保健・福祉・教育機関と連携、共有し、子どもたちへの支援を総合的かつ効果的に行っています。	内容については、事業所内で共有しております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	学校との間で年間計画や行事予定を保護者を通じて共有し、送迎やトラブル対応時の連絡を円滑に行っています。	内容については、事業所内で共有しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	保護者のご要望に合わせて定期的な会議や連絡帳を通じて、子どもの発達状況や支援内容を共有し、関係者間での情報交換を促進しています。	要望のある一部の児童に限定される為、積極的に、連携を図ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	/	/	該当なし	該当なし
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/	該当なし	該当なし
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	該当なし	該当なし
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	機会はありませんが、必要に応じて行います。	内容については、事業所内で共有しております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域のフットサル施設を活用し、子どもたちが地域の他の子どもたちと、挨拶できる場を提供しています。	今後、必要に応じて活動する機会も進めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	定期的な面談や連絡帳を通じて、保護者と子どもの状況や発達に関する情報を共有しています。	保護者からのフィードバックを受け入れ、支援内容の改善に活かしていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。	家族向けの支援プログラムや研修を；必要に応じ、企画・実施を進めてまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	HPや掲示を通じて、運営規程や支援プログラムの内容を明確に伝えていきます。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別面談やアセスメントを通じて、子どもや保護者の意向やニーズを把握しています。	今後も要望や意向の確認をし、作成してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	具体的な支援内容や計画を文書化し、保護者と共有しています。面談を行い、計画内容の説明・同意をおこなっております。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者からの相談に対し、面談の機会を設け、必要な助言や支援を提供しています。	引き続き、保護者との信頼関係を構築を深めていけるように努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	ニーズが、少ない為、実施機会が今のところございません。	きょうだい同士の交流の機会提供については、今後の検討が必要とされています。今後、必要に応じて、対応いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応の体制を整備し、保護者への周知を行い、迅速かつ適切な対応をしています。	相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的な通信発行やHP、SNSを活用し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報発信を行っています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の適切な取扱いについて、十分な留意が払われています。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いに、十分に留意いたします。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	発達段階に応じたコミュニケーション方法を用い、資料提示や視覚的支援を行っています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	45. 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるように努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	非常災害に備えた訓練を定期的実施しています。	引き続き訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定し、非常災害に備えた訓練を定期的実施しています。	引き続き訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に、詳細を確認し適切な対応につとめております。	対応について、今後も職員間でできるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーの対応については、医師の指示に基づき、保護者に確認をした上で、適切な対策を講じております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全管理のための研修や訓練を実施し、適切な措置を講じています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画や取り組み内容について、保護者への周知を行っています。職員間でも、研修やミーティングを通して周知しています。	引き続き、内容の周知を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	現時点で、父母の会や保護者会の開催情報は公開されていませんが、保護者同士の交流を促進するための取り組みを検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な虐待防止研修を実施し、職員の意識向上を図っている。	引き続き、定期的に研修を実施してまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束の研修を通し、職員間で共有している。保護者へ個別面談を通じて、身体拘束に関する方針や状況を丁寧に説明している。	今後も必要な場合には、十分に検討し、丁寧な説明とともに身体拘束の適正化に努めます。	